



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第192号

2007年10月10日

みなさん、こんにちは。三連休を楽しく過ごされましたか。文博では秋季特別展が始まりました。

● 木喰仏の微笑み

10月5日（金）に開会式が催され、秋季特別展「木喰展」が始まりました。

開会式の後、全国木喰研究会 評議員 小島梯次



持参のペンライトを
手に木喰仏について
あつく語る小島さん

氏から展覧会の見どころを
解説していただきました。小
島さんは本展を「数、作品の

質とも過去最高のもの」と大絶賛。1階の神像には「唯一の束帯の像です。よく出品してくださいました」と香川県の神社からお借りしてきた貴重な像に光を当てておられました。

木喰仏の人間味のあるあたたかな微笑みにご観覧の方も魅了され「子供も楽しんでいた」「見ていてこちらも微笑みが出た」と感想を仰っていました。

11月4日（日）まで開催しています。



テープカットの瞬間

● 獅子舞です！ 秋祭りの季節です！



小学生も上手に演奏
しています

10月8日（月祝）大蔵谷から西之組獅子舞保存会の方が毎年恒例の軒周り（お祓いと獅子舞の芸の演舞）にやってきました。小雨が降るあいにくのお天気でしたが、お囃子の音に館内のお客様もロビーに集まり、しばし秋祭りの雰囲気を楽しみました。



大技も披露！

木喰展では全国からほとけさまをお借りしていますが、兵庫県下のお寺にも多くの木喰仏があります。博物館でご覧になった後は、お寺の雰囲気を味わいに出かけてみては如何でしょうか。そのときは、ほとけさまがお寺にお帰りになっているか事前にご確認くださいね。